

## いちいの会だより



## 理事長就任のご挨拶

社会福祉法人 いちいの会 理事長 山内 幹雄

平素より当法人の運営につきまして、関係の皆様のご理解とご支援を頂戴し厚く御礼申し上げます。

この度、前児嶋政明理事長の後任として理事長を拝命し、重責に身の引き締まる思いでございます。

当法人は平成11年に社会福祉法人の認可を取得し、平成12年に当法人の最大の母体であるくすのき苑を開所し、以降のだネット、グループホームやワークショップくすのきの開所に加え相談支援センターと事業を拡げてまいりました。利用者の方々も法人全体で100名規模となり、職員も約100名を数えるまでに成長してまいりました。

初代の故桐山司理事長、2代目故西脇修司理事長、前児嶋政明理事長、また初代施設長藤森元氏、2代目総合施設長相馬伸男氏、現総合施設長清本健二郎氏はじめ法人の全役職員に対し敬意と感謝の意を表したいと思えます。

今後も当法人の基本理念である「利用者第一の充実した支援サービス」「地域福祉への貢献」「やりがいと研鑽そして笑顔の職場」のもと、何でも話せる明るい法人を目指して行きたいと思えます。

また本年後半からはくすのき苑の増改築やグループホームの新築等20数年を経過した当法人のリニューアルプランを実行してまいります。

ご関係の皆様におかれましては、引き続きのご指導ご鞭撻をお願いいたしまして理事長就任のご挨拶とさせていただきます。



## ●目次●

◇新理事長挨拶.....	1
◇活動報告.....	2,3
◇ハルーン フェスティバル 行事.....	4,5
◇職員日記 お知らせ 編集後記.....	6



# くすのき苑 ワークショップくすのき

## 自主生産の販路拡大にチャレンジ!

ワークショップくすのき 齊藤 貴子

ワークショップくすのきでは現在自主生産としてビーズ・革・クロスステッチをおこなっています。今までは利用者の方と一緒にしていた販売会がコロナの影響によりなくなることが続きました。

そんな中、春日部イオンの中でほっこりマルシェという販売会に出会い、昨年より他のハンドメイド作家さん達の作品と一緒に委託販売として参加させてもらうことが出来るようになりました。また、それをきっかけにInstagramにて製品の紹介をはじめました。製品を載せると「いいね」を頂きました。中でもクロスステッチによるQRコードは何名かの方に「本当に読み取れるんですか?」と驚きの反応もみられました。投稿をしていくなかで見てくださった、野田市にある「つり処たぬき」さんに声をかけていただき、現在製品を置いています。

現在対面での販売会はまだ難しいですが、色んな人に見てもらい、手に取ってもらう機会が増えたことによって、利用者の方が作った製品を知ってもらったこと、またどんな人が製品を作っているのだろうと興味を持ってもらえたことを嬉しく思います。いつか利用者の方と一緒にまた販売会に行ける事を楽しみにしたいと思います。

## GOGOビリーブ班! ~21人と共に~

生活支援員 中山 明日美

5月に新体制となったビリーブ班。10名の利用者の方が仲間入りをし、更にはぎやかな班となりました。

それぞれ活動ごとに班分けしており、廊下歩行班・余暇活動を提供するクエスト班・リハビリ班…そして新たに課題班を加え、総人数21名という大所帯班に!とくれば個々の課題も21通り見えてきます。楽しく作業できる環境作りや適度な運動量、課題の量の調整など『利用者の方の楽しく穏やかな生活』を目標に、その人にあった活動は何だろう…?と、新体制を迎えるにあたって職員同士沢山の意見を交換しました。

例えばクエストは利用者の方が飽きてしまわないよう新しい物を定期的に取り入れ、リハビリは月に一度、外部の先生を招きリハビリの様子を見てもらっており、日々変わってゆく利用者の方の身体的な変化を細かくお伝えし、都度見直しを行っています。散歩は夏という事もあり現在は控えてはおりますが、代わりに室内で音楽を流し(ソーラン節は特に大盛り上がり!)職員と手を繋ぎながらゆったりと歩行を行っています。もう少し涼しくなった際は苑庭に花壇を作り、のんびりとお花の世話を一緒に行いながらの散歩も考えている所です。

まだまだ手探り状態ですが、利用者の方の「楽しい」「またやりたい」という気持ちを最大限引き出せる、そんな班を目指しビリーブ班一同頑張っています。

# 活動報告



## ステップ班 ~今日も明日もステップ・アップ!~

生活支援員 張ヶ谷 カツ

ステップ班は課題班とリサイクル班の2グループですが、今回はリサイクル班について紹介します。

リサイクル班ではペットボトルや空き缶といった資源のリサイクルを目的とした活動を行っています。利用者の方は長年の経験もあり、とても意欲的に活動しています。作業時間が待ちきれず早めに始める方、黙々と集中して行う方等、それぞれが素晴らしいスキルを持っておりとても見事で頼もしささえ感じています。また、いつも私の傍で手助けしてくれる方に「有難う」と感謝をすると、「ニコッ!」と誇らしげに笑顔を見せてくれる時は、微笑ましさ嬉しさも感じています。

自分の要求を訴える手段として、以前は飛び跳ねる・大声を出す・思いが通らず通路に寝そべってしまう方も居ましたが、個々に合った活動を提供する、小さな変化に気付き傾聴する、構造化など試行錯誤の結果、今では利用者の方一人一人が落ち着いて意欲的に取り組むことが出来ています。

夏季期間は熱中症対策として室内で自立課題活動を行っていますが、そこでも多くの「出来る」を発見し感激しています。

今迄の経験で、職員同士の共通理解・統一した支援・褒める等、こちらの対応次第で可能性が沢山潜んでいるということを改めて実感しています。

## 文武両道のマーチ班

生活支援員 鈴木 鷹之

4月から新しい年度となり、利用者の方や寮や作業班の職員も変更となり、また新たな気持ちでスタートをしています。

マーチ班では、主に自立課題や製品を作成する室内活動と、運動量の確保や気分転換を兼ねた長距離の散歩の二つの活動を主軸として行っております。室内活動では、個々人に特化した課題や取り組みを提供しており、例えばしもやけに悩んでいる方は、課題の他に足浴を導入して、足の冷えやむくみの予防などを行っていたりします。それぞれの利用者の方に合った課題量をこなして、活動後のコーヒーやお茶菓子を楽しみに毎日頑張っています。

散歩活動では、夏場は気温が高くいつもの散歩コースだと暑く厳しい為、直射日光が少なく比較的涼しい清水公園に行き、散歩を行っています。散歩後には好きなジュースを購入し、冷房のかかった涼しい部屋でリラックスしながら仕事後のジュースを楽しんでいます。

これからも利用者の方ご本人のニーズに合った課題を提供できるように、職員も頑張っていきたいと思っております。

# バルーン



## 行事の様子

## 誕生日会



## 七夕



# フェスティバル



## バルーンフェスティバル

生活支援員 網谷 理香

くすのき苑では6月に「コロナ禍でなかなか外出できない利用者の方達にお買い物を楽しんでもらいたい」というコンセプトから、ショッピングモールをイメージしたバルーンフェスティバルを開催しました。苑内を色とりどりの風船で飾り付け、ショッピングエリアには洋服屋さんと雑貨屋さん、フードエリアにはドーナツ屋さんとアイス&ジュース屋さんを用意しました。気に入った洋服を自由に試着したり、欲しい雑貨やおもちゃを購入したあとは、ドーナツやアイスを食べで一休みしたりと、利用者の方達がショッピングを満喫している様子が伺えました。また、くすのき苑のマスコットキャラクターえだまめマンによるお菓子のつかみ取りなどのイベントもあり、バルーンフェスティバルは大盛況で幕を閉じました。

信州上田出身、歴史好きの私にとって同郷の真田幸村(信繁)は避けて通ることができない戦国武将である。上田城で徳川の軍を2度も撃退し、大坂の陣では敵将徳川家康を追い詰め「真田日本一の兵」と呼ばれた。小説やドラマ、ゲームなどで知名度が高く、多くの人に愛され続けている人気者。ひねくれている私は「流行かぶれ」に見られることが嫌で幸村とは斜に構えて付き合っている。

実際の幸村は戦が得意な勇猛な武将ではなく、幼い頃は人質生活、青年期は豊臣政権の文官、第二次上田合戦の時は父親の指揮の下で、勝ったにもかかわらず敗軍の将として和歌山県の九度山に14年幽閉生活と他の戦国武将に比べて地味な経歴である。大坂の陣の時には49歳、当時は歯が欠けた白髪頭の冴えない外見の男だったらしい。自ら軍を率いた実戦の経験はほぼ無く、初めて本格的に軍を指揮したのが人生最後の戦いであった。実践経験が少なかったため、経験値が足りず一部の戦いでは軍の編成に手間取り、仲間の手助けに間に合わずに敗退するなど失敗もした。それでも自らの運命に従い、全力を尽くして戦い、そして命を落とした。

幸村を資料から読むと派手な武将のイメージからかけ離れた柔和でおとなしい性格の中年男性が浮き上がってくる。なぜ誘われたとしても必ず負けると分かっていた豊臣方に付いたのか、敵の大軍を目の前にした最後の時に胸に去来するものはなんだったのか本人にはわからない。ただ、平穏な生活を捨てても自分の力を存分に試したかったのではないかと。たとえ力不足で負けると分かっているとしても、である。

私の年齢も幸村の最後の歳に近づいて自分の天井が見えてきた。歯は欠けていないが白幸村のように命に従い、人生の後半戦にせいぜいあがいてみようと思う。

### くすのき祭中止のお知らせ

11月6日に開催を予定しておりましたが「くすのき祭」ですが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、ご利用者様やご家族、来苑される皆様方の安全面を第一に考慮し、中止とさせていただきますことになりました。

ご参加を検討していただいていた皆様、団体様にはご迷惑をおかけすることとなり、大変申し訳ございません。

何卒、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

### ワークショップくすのき Instagram QRコード



### 編集後記

少し前に頂いて飲んだ梅酒が美味しく、いずれ作ってみようと思っていた果実酒をこの前作成しました。果物は色々悩んだ末、少し変わったものを作ってみようと思えばプラムを使い、お酒は度数20℃以上の日本酒を使用。3ヶ月後の9月22日が今の楽しみです。(清宮)

今年度から広報誌の担当をさせていただくことになりました、よろしく申し上げます。

趣味はゴルフです。ゴルフは親戚や兄弟がやっているのをきっかけに始めました。陽が差し広々とした森林の中でクラブを持ち、旗目掛けて思いっきり打つのはとても最高です。グリーン上でカップ内にボールが入った瞬間はとても気持ちがいいものです。皆さんも良かったらゴルフを始めてみてください。(吉原)

### 社会福祉法人 いちいの会 くすのき苑

〒270-0222 千葉県野田市木間ヶ瀬3121  
TEL :04-7120-6667  
FAX:04-7120-6668

発行責任者 総合施設長 清本 健二郎

編集 清宮・吉原

発行日 令和4年8月吉日

